

平成25年度 第1回小平市公民館運営審議会 会議要録

- 1 開催日時 平成25年4月16日(火) 13:30~15:30
- 2 開催場所 小平市中央公民館 会議室
- 3 出席者 小平市公民館運営審議会委員 12名(1名欠席)
事務局 中央公民館長、館長補佐、管理係長、分館主査9名(1名欠席)
- 4 傍聴者 1名
- 5 配布資料 (1) 平成25年4月1日付 人事異動・・・・・・・・・・資料1
(2) 小平市公民館運営審議会委員名簿・・・・・・・・・・資料2
(3) 小平市教育委員会組織機構図(表)
小平市公民館分掌事務(裏)・・・・・・・・・・資料3
(4) 平成24年度公民館定期講座実施状況・・・・・・・・・・資料4
(5) 平成24年度東京都公民館連絡協議会委員部会 報告(表)
保育事業研修会 報告(裏)・・・・・・・・・・資料5
(6) 平成24年度東京都公民館連絡協議会委員部会 職員部会 報告
・・・・・・・・・・資料6
(7) 平成25年度公民館関係予算・・・・・・・・・・資料7
(8) 平成25年度小平市立公民館事業計画・・・・・・・・・・資料8
(9) 小平市教育委員会の平成25年度基本的な方向・・・・・・・・・・資料9
(10) 小平市教育振興基本計画(概要版)・・・・・・・・・・資料10
- 6 次第 (1) 館長報告
(2) 平成24年度公民館定期講座実施状況について
(3) 平成24年度東京都公民館連絡協議会委員部会運営委員会・職員部会からの報告について
(4) 平成25年度公民館関係予算について
(5) 平成25年度小平市立公民館事業計画について
(6) その他

会議の概要

1 館長報告

- (1) 平成 25 年 4 月 1 日付人事異動について (資料 1)
- (2) 小平市教育振興基本計画について (資料 10)
- (3) 小平市教育委員会の平成 25 年度基本的な方向について (資料 9)
- (4) 小平市教育委員会組織機構図、小平市公民館分掌事務について (資料 3)

(質疑応答)

委員 小平市教育委員会の平成 25 年度基本的な方向について、小平市はいじめの件数が東京都下で最も多かったが、いじめに対する具体的な対策はないのか。

事務局 東京都のいじめの調査については、小平市ではきめ細やかな調査をした結果、件数が他の自治体に比べて多いという報告を受けている。

委員 どこまでがいじめかという判定が難しい。当初、小平市は非常に丁寧な調査をした結果、件数が多かったが、再調査では件数が減った。調査の結果を分析し、早め早めに対応するという考えでやっている。

委員 丁寧すぎたということは、他市は雑だったのか。いじめの件数はかなり多く、荒れている学校もあると聞いている。対策については、より詳細に取り上げるべきだと思う。

委員 小平市教育振興基本計画や小平市教育委員会の平成 25 年度基本的な方向には、公民館のあり方の検討が含まれているが、どのようなイメージで載せたのか。

事務局 公民館のあり方の検討は、小平市第二次行財政再構築プランの中に入っており、平成 23 年度から平成 25 年度で検討し、その結果を報告することになっているので、小平市教育振興基本計画に載せている。

2 平成 24 年度公民館定期講座実施状況について

事務局より資料 4 について説明した。

(質疑応答)

委員 公民館まつりでは、小中学校との連携した催しがあるが、各公民館がそれぞれの地域の小中学校と連携し、市内全ての小中学校を網羅するようになっているのか。

事務局 各館ごとに担当の地域を決めて、それぞれの地域の学校に協力を依頼するという考え方はある。ただ、立地条件によっては、公民館が学校から遠く、なかなか連携が取りにくい場合もある。引き続き、声かけはしていきたい。

3 平成 24 年度東京都公民館連絡協議会委員部会運営委員会・職員部会からの報告について

委員、事務局より資料 5 及び資料 6 について説明した。

4 平成 25 年度小平市公民館事業計画に向けて

事務局より資料 7 について説明した。

(質疑応答)

委員 新仲町公民館の備品等の予算はいつごろ計上するのか。

事務局 新仲町公民館の予算は 26 年度予算となるため、今年度検討していく。

委員 高齢者学級の内容について詳しく聞きたい。

事務局 今年度、分館の市民講座は、全館で高齢者学級と家庭教育講座の 2 講座を実施する。高齢者学級は、教育振興基本計画をもとに、地域の元気な高齢者を募ることで、地域で活躍する人材が発掘され、地域の課題を地域で解決していけるような講座にしたいと考えている。土曜子ども広場友・遊等の公民館事業にも参加してほしいと考えている。

5 平成 25 年度小平市立公民館事業計画について

事務局より資料 8 について説明した。

(質疑応答)

委員 今年度新たに挑戦することは何か。

- 事務局 分館での高齢者学級の実施が今年度の新たな取り組みとなっている。中央公民館では、これまでのシルバー大学を長期的に実施し、昨年度の受講生にも 2 年生として参加してもらおう。全館で地域のリーダーとなるような人材を育成し、公民館と一緒に課題を見つけ、解決していく講座にしたい。
- 委員 今の公民館は職員だけでは手一杯だ。人材バンクのような登録制の市民ボランティアの活用が有効ではないか。
- 事務局 中央公民館では、近年、シルバー大学の受講生が、それぞれの趣味や特技を活かし、子ども向けの事業等の企画、運営等を行っている。このように、講座の受講生が公民館事業や地域社会に貢献できるかたちがあればと考えている。
- 委員 ボランティアのリストを全館で共有できれば大きな財産になる。情報管理の問題はあるが、公民館で活躍できる人のスキルや知恵を活かす方向を目指してほしい。
- 委員 公民館のあり方の検討について、現段階ではどの程度検討されているか。
- 事務局 少子高齢化やインターネット社会の広がりによる無縁化等が進み、地域コミュニティが衰退している今、高齢者の居場所や出番をつくり、自助、共助の社会を目指すことが求められている。一方で、平成 23 年度に実施された小平市の教育に関するアンケートでは、7 割近い人が公民館を利用していないという結果が出ており、公民館に対して、特定の住民サービスを提供する施設というイメージを持たれている実情がある。誰にとっても役立つ施設としてのあり方を見出していかなければならないと考えている。
- 委員 7 割の人が公民館を利用しないということは、残りの 3 割の人が公民館を利用していることになり、利用者は決して少なくない。公民館が、特に用事がなくても、気軽に立ち寄ることができる場所になれば、そこでまた新たな動きが生まれるのではないか。
- 委員 公民館の機能として、「学ぶ」、「集う」、「結ぶ」があるが、「結ぶ」というところが一番難しい。「施設は人なり」という言葉がある。たとえ一人であろうが、学生数人であろうが、何でも受け入れることができれば、公民館はより発展するのではないか。

- 委員 市民講座の一つが高齢者学級になり、高齢者学級の対象者は概ね 60 歳以上ということで、受け入れる年齢層の幅が狭くなったのではないか。できる限り異世代交流ができるような講座にしてほしい。高齢者学級の内容はどのようなものになるのか、決まっている範囲で知りたい。
- 事務局 市民講座としては、夜間講座、サタデー講座等があり、幅広い年代の受講生を募っている。現段階で決まっている高齢者学級の内容としては、ウォーキングやヨガ等の体力づくり、地域防災、介護のボランティア体験等がある。
- 委員 高齢者対策は盛んに行われているが、子どもの方にももう少し目を向けてほしい。公民館へ来れば友達ができ、子ども同士の意見交換ができるような場としてのあり方を考えてほしい。
- 委員 公民館単独ではなかなか難しいことがある。今後は、縦割りではなく横割りで、市の子育てや福祉の部署と一緒に、協力してできることを考えてほしい。
- 委員 公民館に何気なく来ている人が、親切にしてもらったり、いい思いをすれば、また来ようと思う。公民館に多くの人が来るためには、職員や委員の努力が必要だ。市のHPもアクセスしやすくなったが、縦割りの情報が多いので、共通する分野については、他の課のページから公民館のページにアクセスできるようにならないか。HPでより多くの人々が公民館について知り、利用してくれるようになればいいと思う。

次回は、5月21日（火）午後1時30分より、中央公民館会議室にて開催する。